

# 地域とともにある学校づくり

## 1 コミュニティ・スクール

### I コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、平成16年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により導入されました。

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

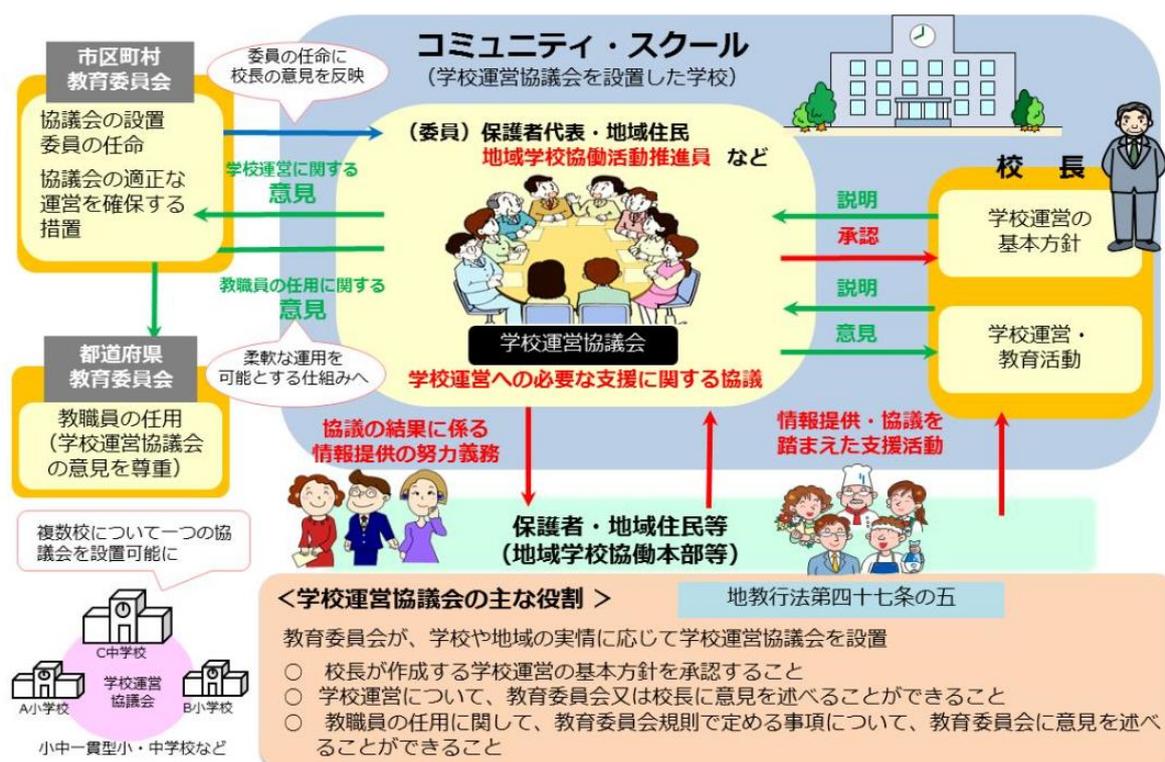
保護者や地域住民などで構成される学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティ・スクールと呼び、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われ、これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

### II コミュニティ・スクール導入についての考え方

上田市教育委員会では、保護者の願いと地域の声を反映させるとともに、学校の自主性・自立性を尊重し、学校と保護者・地域とが協働した教育活動の充実を図るため、コミュニティ・スクールも一つの方法と捉え、信州型コミュニティスクールと併せて、平成23年度より条件の整った学校から学校運営協議会の設置を行いました。

### III 学校運営協議会の設置状況

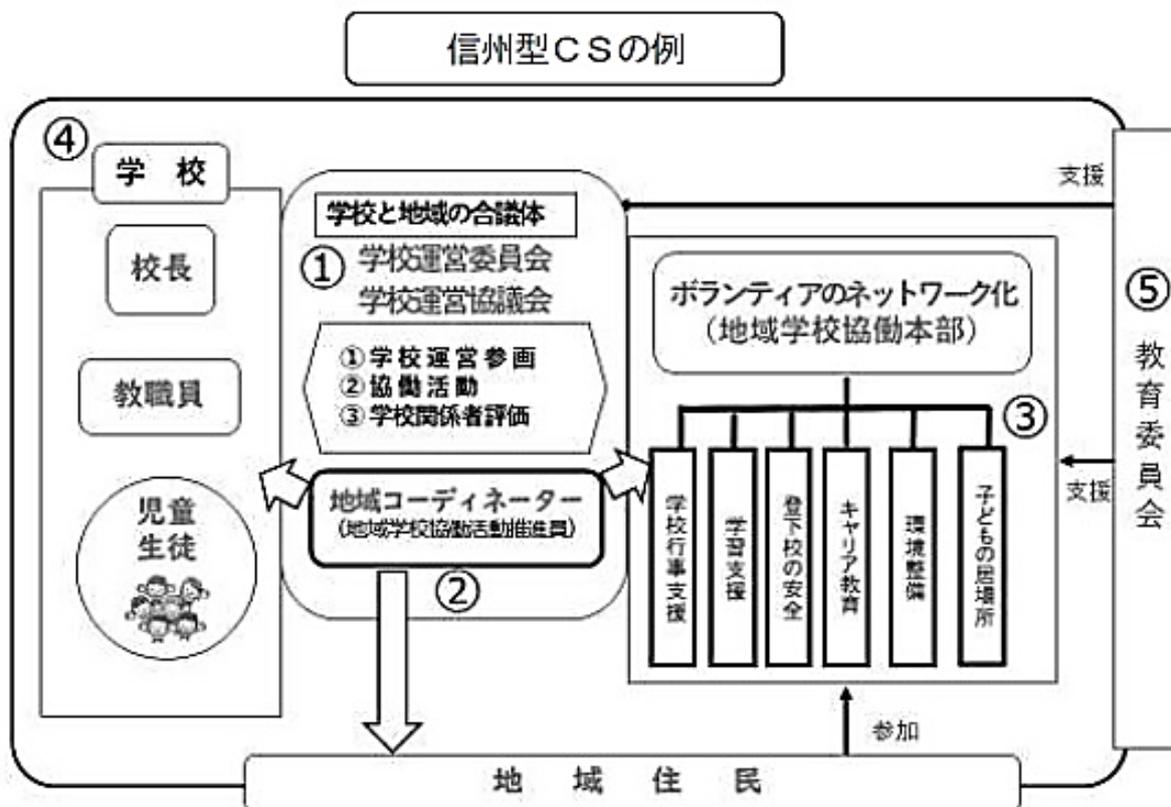
- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| (1) 設置されている学校 | 上田市立浦里小学校、上田市立川西小学校 |
| (2) 学校運営協議会委員 | 8人以内                |
| (3) 委員の任期     | 1年                  |



## 2 信州型コミュニティスクール

長野県では、各学校は地域との間に築き上げてきた土台の上に、①学校運営参画②協働活動③学校評価機能を一体的・持続的に実施する仕組みを「信州型コミュニティスクール（信州型CS）」として構築し、学校と地域住民の協働により、子どもたちの豊かな成長を支えるため、「地域と共にある学校」づくりを進めています。

上田市の現状としては、国型のコミュニティ・スクールの小学校2校と、その他全ての小中学校において、信州型コミュニティスクールの要件を満たしています。



## 3 上田市学校支援プロジェクト(地域学校協働活動)

国で推奨している統括コーディネーターを配置し、各地域のコーディネーター及び公民館と連携しながら、学校支援及び地域学校協働活動を推進しています。

平成29年度からは「ボランティア活動保険」に加入し、安心して活動できるよう配慮しています。

また、「学校支援ボランティアハンドブック」や「コーディネーター向けのハンドブック」などのマニュアルや、実践向けの「ボランティア募集リーフレット」「読み聞かせ・朗読一覧」「学校支援ボランティア コミュニティルーム」などを作成し、各学校や各公民館、ボランティアの皆さん、学校支援の関係者、市民の方に配布しています。